

Living Water



150

数字の秘密は2ページへ

聖書のことば

初めに、神は天地を創造された。地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の靈が水の面を動いていた。神は言われた。「光あれ。」こうして、光があった。神は光を見て、良しとされた。神は光と闇を分け、光を昼と呼び、闇を夜と呼ばれた。夕べがあり、朝があった。第一の日である。

創世記 1 章 1 節～5 節

宇宙旅行に関連する心理的効果は「オーバービュー効果」と呼ばれています。

2017 年に国際宇宙ステーションに滞在したフランスの宇宙飛行士トマ・ペスケは、「ここに来るためにはこれだけの技術が必要だったが、地球、宇宙、そして生命そのものが一体であるというシンプルなことを理解するためだった」と述べています。

「ここからは、国境や戦争、憎しみが理解しにくいと感じます」。他の宇宙飛行士たちも、地球の脆弱性について言及しており、大気が地表にうすく覆いかぶさっている様子を観察しています。人間の影響は土壤侵食、森林伐採、氷河の融解などに見られます。

「地球の出」写真の 50 周年を祝うにあたり、イギリスの生物学者は「私たちが自然界とのつながりを失っていないかったこと、再発見してくれたことを示してくれた。この写真で初めて、宇宙の中で一つの家を共有していることを目のあたりにした」と述べました。アポロ 8 号の乗組員が写真を撮った後、最初の放送で聖書箇所、創世記 1 章 1～5 節を読みました。

私たち全員が同じ地球に住んでいること、この地球を皆のために守る必要があることを実感してほしいと思います。

(健康生活学部子ども学科 政次カレン先生 2024年6月25日朝のチャペル奨励より抜粋)

目次

- 3 KWASSUI History 6
活水からの贈り物——説教台のその後
- 4 特別企画
ひとつの挑戦が新たな未来の扉をひらく
- 6 大学紹介特別企画
読んで、みて、しる 活水
- 12 活水中高の学び
- 14 サークルアクティビティ④
活水の平和学習 活水高等学校 平和学習部
- 15 大学授業最前線⑥
AI と生きていく時代だからこそ、文系の学びが大切であることを伝えたい
- 16 先輩たちの今 Close up ⑥
書家 悠杏（吉垣 奈美代さん）

時を超えて刻む 150 年の祈り——

本号の表紙は、前号に引き続き、活水同窓会の永吉美恵子会長のご縁により、たぬき絵作家として高名な堤けんじ先生による特別なクリスマスの一枚をお届けします。聖夜の輝きと、トナカイに引かれたサンタの優しい姿が、活水学院の歴史ある校舎を背景に描かれ、未来への希望を照らします。

2029 年、活水学院は創立 150 周年を迎えます。日本の女子高等教育の黎明期、1879 年に誕生した本学院は、創立当初から今も変わらず同じ東山手の丘で知の灯火をともし続け、高等教育機関としての誇りを胸に歩んでまいりました。150 年を迎える時の重みを感じながら、私たちはキリスト教主義に基づいた建学の精神を堅く守りつつ、静かな祈りとともにこの聖なるクリスマスを迎えます。

この季節、心を清め、愛と平和の祈りを胸に、一人ひとりが新たな歩みを始める時です。キャンドルの光に照らされるこの学院が、新たに 150 年への日々を刻むよう、共に未来へと祈りを捧げましょう。





活水からの贈り物

説教台のその後

1889（明治22）年、やつと大日本帝国憲法が制定された頃、活水は創立から10年目を迎えていました。この年に生徒・学生の教育課程として初等科4年・中等科4年・高等科4年の計12年を「正科」（現在の小学校～高校の12年に相当。まだ国産の教科書も整っていない時代だったので、学年が上がるにつれて各科目では輸入された英語版教科書を使用）と定め、さらにその上に4年の「神学科」（現在の大學生に相当。牧師となつて全国にキリスト教を広めるコース）を置きました。

この時、神学科の学生は神学の正科目以外に、邦文部（国文学か歴史）・技芸部（音楽か美術）のどちらか1つを選択して履修することと定められました。1891（明治24）年1月には神学生たちによる音楽会＆作品展示即売会を初めて開催、との記録があります。そしてこの年、アメリカから招いたサイモンズ先生によって技芸部から「美術部」が独立します。これらの説教台と椅子は、この「神学科美術部生」とその卒業生たちによる作品なのです。（『活水学院百年史（1981年刊）』参照）

プレゼントされた側は代々語り継いでいますが、プレゼントした側はケロッと忘れていました。でも、それでいいのでしょうか。悪いことよりも良いことで憶えていてもらえるなんて、素敵ですね！

（撮影・文・中学・高校社会科教諭 山口 真樹人）



左：大韓民国ソウル・貞洞第一（ジョンドンジェイル）教会の説教台（1897／明治30年作製・寄贈）上辺に「専務傳道（専務伝道）」（新約聖書使徒言行録6章4節）、中央に「信 望 愛」（新約聖書コリントの信徒への手紙I 13章13節）

中央：活水女子大学小チャペルの説教台（1892／明治25年頃作製）上辺に「HOLY HOLY HOLY LORD GOD ALMIGHTY」（旧約聖書イザヤ書6章3節）、中央に「GOD IS OUR REFUGE」（旧約聖書詩編46篇1節）

右：日本キリスト教団札幌教会の説教台（1904／明治37年作製・寄贈）上辺に「聖哉聖哉 聖哉全能 之主上帝」（旧約聖書イザヤ書6章3節）、中央に「神我倣避處（かみはわれらのさけどころ）」（旧約聖書詩編46篇1節）

（＊横浜の教会へも1897年に贈られましたが、残念ながら1923年の関東大震災で失われています。）



韓国最初（1885年）のプロテスタント教会であるソウル貞洞第一教会。1897年のチャペル献堂祝いに説教台と椅子を贈呈。（8月に訪問）



活水女子大学大チャペルステージの椅子。1892年、高等科2回生8名が卒業記念に神学科美術部へ注文した物。札幌とソウルにも同じ物が説教台と共に贈呈されました。



1889年創立の「札幌美以（メソディスト）教会」に始まる日本キリスト教団札幌教会。焼失したチャペルを1904年12月に再建。その献堂式に向けて活水から説教台と椅子を贈呈。（6月に訪問）

ひとつの挑戦が 新たなる未来の扉をひらく

おかえりなさい 想い出の学びの丘へ

KWASSUI ホームカミングデー 特別講演会

「女性活躍推進」



日本航空株式会社 執行役員・九州支社長
活水女子大学文学部英文学科卒業

猿渡 美穂さん



2024年10月26日、第140回螢雪会と同時に「KWASSUI ホームカミングデー」が東山手キャンパスにて開催されました。今年特別記念講演として講師に卒業生の日本航空株式会社執行役員・九州支社長 猿渡美穂さんをお迎えし、「女性活躍推進」について講演をしていただきました。

猿渡さんは、これまでのご自身のキャリアと、それに伴う多くの挑戦を振り返りながら、参加者に對して「目指すべき姿を心に抱き、挑戦し続けることの意義」を語りかけました。

講演では、2030年には推計644万人もの労働人口が減少すること。その労働人口減少消のため、多様な人財を確保するには、出産や育児をしている女性や障がいのある人々などが、生き生きと働き続けられる環境整備が必要であること。また、人財を

引き出すことにより、中長期的な企業価値の向上につながるなど、現在JAしが取り組んでいるDE&I（ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョン※）が必要とされる背景を交えながらお話をいただきました。

さらに、地域貢献活動の一環として、JALが推進する「地域居住支援プログラム」についても紹介され、地域社会

と深く結びつく活動の大切さを強調されました。この取り組みは、地方への移住や定住を促進し、地域の活性化に寄与するものです。

この講演は、多様性への理解を深め、地域との関わり方を見つめ直す貴重な機会となりました。また、自己実現と社会貢献の両立を図るために考え方を学び、将来のキャリアに対しても前向きな姿勢を育むきっかけとして、多くの出席者に感銘を与えました。

※DE&I（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）とは、多様な人が働く組織の中で、それぞれの人に合った対応をすることで、それぞれがいきいきと働き、成果を出し続けるための考え方とされています。

（引用：公益財團法人日本生産性本部HP）

平等とは異なる公平の大切さ



私は今年4月～7月の3か月間、NGOピースボートの「証言の航海」に原爆被爆者である祖父とともに参加しました。世界約20か国を巡り被爆証言会を行いました。

その中で一番印象に残ったのは、ニューヨークでの証言会です。アメリカの核実験により被爆したメアリーさんの証言・映画を見て衝撃を受けました。

原爆を投下した側・された側の立場でお互いの本音で話し合え、貴重な意見を聞くことができ、良い経験でした。



ピースボートの「証言の航海」に 参加して

国際文化学部英語学科3年

長門 百音さん

た。私は恥ずかしいことに被爆者という言葉を聞くと広島・長崎しか知りませんでした。世界中で核実験による放射能が何世代にもわたり広範囲で影響しているということについて初めて知りました。



世界一周をいろいろな人と関わることで自分の長所・短所が明確になり、自分のことをより理解し自信がつきました。乗船前はなかなか意思を伝えることができませんでしたが、帰国後、周りの人からも「はつきりと意思を伝えられるようになったね」と言われ、変わることができたように思います。この船旅での経験は私の人生を大きく変える素晴らしい経験になりました。



「読んで、みて、しる 活水」

活水女子大学の各学科の特徴を紹介します



「日本文化入門」料亭花月を見学



各コースの魅力と特徴

英語コミュニケーションコースは、外国人教員によるオールイングリッシュの授業が充実しており、英語のスピーチやプレゼンテーションスキル向上に力を入れています。英語スキル科目は10～20人の少人数クラスで、アットホームな環境で自分らしさを発揮しながら学べます。また、中高の英語教員免許が取得可能で、子ども英語指導法も段階的に学べる科目群が用意されています。さらに、留学や海外ボランティア、海外インターネットシップといった多彩な海外活動にも参加できます。

日本文化コースでは、古典から現代、さらにはサブカルチャーに至るまでの日本文化（文学や歴史）や日本語そのものについて深く学べます。長崎の史跡を訪問する実習もあ

国際文化学科

思いをかたちに――
多様な価値観を尊重する視点と、課題解決力を身につける

自分に合った学びが見つかる！

2024年4月、国際文化学科部国際文化学科が開設されました。この学科には、英語コミュニケーションコース、日本文化コース、地域・ビジネスコースの3コースがあり、それぞれの専門科目を学びながら、興味関心や将来のビジョンに応じて他コースの共通科目も自由に学ぶことができます。コースの決定は2年次への進級時で、1年次の学びの成果を踏まえてコース変更も可能です。そのため、目指す道が明確な方はもちろん、将来を摸索している方にとって柔軟に学べる環境が整っています。

各コースの魅力と特徴

英語コミュニケーションコースは、外国人

グローバル視点×地域課題の解決×リベラルアーツ

さらに、本学ではリベラルアーツの一環として「音楽」を学ぶこともできます。音楽表現、音楽史、音楽メディア研究、アートマネジメント論など、活水が誇る伝統的な音楽教育に基づく多彩な科目が用意されています。

国際文化学科では、学生一人ひとりが自分に合った学びを選択し、グローバルな視点を持ちながら社会や地域の課題に取り組む力を備えた女性として巣立つていけるよう、充実したサポート体制を整えています。多くの皆さんに、この国際文化学科に興味を持つていただけることを願っています。

り、現地での体験を通じて学びを深められます。日本語教員養成課程修了認定も取得でき、日本語能力を高めることで、A1をはじめとする技術と協働するために必要な「正しく意図が伝わる日本語」を習得できます。

地域・ビジネスコースでは、「地域」と「ビジネス」の両方にについて学び、社会で即戦力となる実践力と課題発見・解決力を身につけられます。地元企業や自治体で2か月間の長期インターンシップを行い、実務経験と主体性を養います。実務経験豊富な教員が多いことも特徴で、出島メッセでのフェスタでは、学生が開発した商品を販売し、十八親和銀行主催「長崎学生ビジネスプランコンテスト」KPG賞（伊王島i+Land nagasaki運営会社特別賞）を受賞するなど、実践的な学びが充実しています。

食生活健康学科

食と栄養を通して、健康で豊かな生活を創る

管理栄養士の役割と広がる活躍の場

皆さんは管理栄養士に会ったことがありますか？厚生労働省によると、2023年には日本に約28万人の管理栄養士が登録されています。また、日本的人口10万人あたりの管理栄養士数は世界一で、病院、企業、給食会社、児童福祉施設といった分野に加え、教育機関や行政、薬局、歯科と多様な場所で「食」と「健康」を支える存在として活躍しています。この広がりが、日本の健康づくりや疾病予防にどれほど重要な役割を果たしているかを示しています。

科では、人体構造機能や食品学、栄養学などの知識を学び、地域連携活動を通じてその知識を活かし、学生と教職員が共に成長する学びの場を提供しています。



栄養教育論実習



地域の運動教室での指導実践



給食経営管理実習

食生活健康学科が目指す実践的な学び

全国に152か所ある管理栄養士養成施設のひとつである活水女子大学の食生活健康学科は、「人々の健康的な生活を支援するための実践的能力を備えた管理栄養士の育成」を教育目標としています。ここで「実践的能力」とは、単に知識を得るだけでなく、それを日常生活や現場で「活用」できる力です。例えば「バランスの取れた食事を」と言われても、それを日常的に実行するのは難しいもの。管理栄養士には、個々のライフスタイルや状況に応じて「成解・解と成るもの」を考え、共に健康的な改善策を見つける力が必要です。こうした力を養うため、食生活健康学

栄養と運動で支える健康な生活づくりと多岐にわたる活躍の場

健康な生活には「栄養・運動・休養」の三要素が重要です。特に栄養と運動は健康づくりの両輪とされており、活水女子大学の食生活健康学科では管理栄養士資格に加えて、健康運動実践指導者の資格も取得できるカリキュラムを提供しています。この両資格が取得できる大学は全国で13校のみで、食生活健康学科では、食と運動の両面から総合的に健康づくりを支援できる管理栄養士の育成に力を注いでいます。2023年度の管理栄養士養成施設卒業生の主な就職先は病院32%、企業30%、給食会社等10%、児童福祉施設8%であり、その他にも教育機関や行政、薬局、歯科など管理栄養士の活躍の場は多岐にわたりています。食事は必ず毎日行う必要不可欠な生活習慣、栄養素の摂取だけでなく、気分のリフレッシュや他者との交流にも役立つものです。食生活健康学科ではそのような食と栄養を通して、健康で豊かな生活を創ることができる管理栄養士を育成しています。



生活デザイン学科

**多様な分野のデザインを基礎から学べる
長崎県内唯一の学科**

生活にまつわるモノ・コトを対象にデザインを学ぶ学科です。情報やWeb、視覚的に伝えるグラフィック、人々の活動の器でもある建築と、その内部空間を構成するインテリアやプロダクト、人々が身に纏うファッショント、幅広い分野を対象とします。多様な分野を対象に、共通する部分を横断的に学び、課題解決に向けたデザイン思考を育む姿勢で一貫した学科です。

2025年度入学生から、高校在籍中に取得した資格を入試に活かせる奨学金制度を新設しました。また、入試種別の一つに、入賞実績を活かせる特待生選抜があります。

仕事と資格に繋がる学びがある

取得できる資格には、中学校・高等学校教諭一種免許状（家庭）、図書館司書、学校図書館司書教諭、学校図書があります。また、取得できる受験資格には、一級建築士（実務経験3年以上）・二級建築士（実務経験0年以上）があります。教員採用試験では、長崎県をはじめ、他都道府県からも大学推薦制度があります。※（ ）内は建築士免許登録要件

私に合わせて選べるカリキュラム

大きく分けると3つの分野（クリエイティブ系、建築・インテリア系、ファッション系）がありますが、コース制ではありません。興味がある分野に軸足を置き、自分にあつた科

目を選択し、体験しながら分野を定めていくことが可能で、多様な選択科目から選ぶことができる一方、共通して必要な学びは必修科目である為、各分野を横断的に修得する必要があります。

素養は不要！一から学ぶデザイン

デッサンや造形演習、基礎製図、色彩論など、基礎から学ぶことができます。各授業科目で、自分で道具等を揃える必要はなく、道具等は大学の備品として一通り揃えています。また、各業界のプロが使うソフトを使い、授業で演習を行います。全て、初学者向けに開始し、実際に体験しながら学ぶ、演習が多くあります。

実践的な学びの機会

地元企業を始め、地域連携のプロジェクト型の学びの機会を積極的に提供します。タイミングの有無はありますが、実践的な取り組みに関わりながら学ぶ機会もあり得ます。また、各分野のコンテストやコンペへの応募を積極的に支援します。授業課題をもとに、課外活動として応募に繋げる機会や、自主的な課外活動での取り組みに教員がサポートします。専門科目で選択科目の「生活デザイン研修」は、隔年で実施し、現地を訪ね体験する機会を設けます。



子ども学科

1年次から始まる本学独自の実践教育
対人援助力を磨き資質・能力を開花！

保育・教育・福祉のスペシャリストを目指して！

多文化教育から心理学まで！
幅広い学びで将来の可能性を広げる

子ども学科で取得できる資格をお知らせします。主な免許・資格としては、保育士資格証・幼稚園教諭一種免許状・養護教諭一種免許状などがあります。免許・資格を中心としており、対人援助職としての資質・能力を高めるためのカリキュラム構成になっています。保育士・幼稚園教諭については、4年制大学の特徴を生かし、理論と実践の往還ができるように工夫しています。また養護教諭については教員採用試験や採用後の実務を見通した実力養成をめざしています。

初年次実習！手厚いサポートで安心

学習の柱は、何と言ってもさまざまな学外実習になります。すべての学生が、他大学にはない「基礎実習」を1年次で経験します。ここで、実習に共通する基本的な心構えや態度を養成します。その後、保育士課程の実習は、2～3年次にかけて保育園ないしは認定こども園と児童福祉施設で行われます。幼稚園課程の実習は、幼稚園ないしは認定こども園で3年次に行われます。養護教諭課程の実習は、3年次に病院と4年次に学校で行われます。実習は、学生にとって、大きな挑戦ですが、教員がサポートし、学生同士で協力しながら、実習を乗り越えていきます。



学科設立21年を迎える、これまでに多くの卒業生が各地で活躍しています。母校を訪れる卒業生たちからは、学生時代の楽しい思い出や成長の喜びが語られ、教員一同その姿に誇りを感じています。私たちは、子どもの成長を支援する専門職として、社会に貢献できる人材を育てることを目指し、日々教育に取り組んでいます。



母性看護学演習風景

看護学科

**社会のニーズに応え、
地域医療に貢献する看護の専門職を目指す**

2025年度からは男子学生の受け入れも開始

看護専門職への道

看護学科は、看護の専門職を目指す学科です。看護の専門職とは、看護師・保健師・助産師（三職種）を指します。

その人らしい生活を支援するため、そして人々の多様な価値観に寄り添うために、豊かな人間性と倫理観を備えた看護専門職を育成することを目指しています。

少子高齢社会を迎えて、保険・医療・福祉のニーズが増大し、病に苦しむ人だけでなく、地域の人々の健康を増進するためにも看護専門職の役割はますます重要となってきています。このような社会背景の中、当学科では、看護師・保健師・助産師の基盤となるカリキュラムを備えて学生の教育に取り組んでいます。主な実習医療機関は、大学から徒歩3分の長崎医療センターです。長崎医療センターでは、研修を受けた実習指導担当看護師による指導や教員が各病棟に1名ずつ配置され、学生の学びを支援しています。

国家試験へ万全のサポート体制

また、当学科では看護師及び保健師の国家試験受験資格を得ることができます。保健師コースは2年生の学年末に試験があり、15名が選抜されますが、大学4年間で、二つの資格を得ることができるのは、長崎県内では当学科だけです。助産師を目指す学生は、母性

看護学教員による進学支援を受けて、大学院（長崎大学・福岡県立大学等）に進学しています。

更に、学科ではチューター制度を設けており、教員1名で5名～6名の学生を受け持ち、学生生活や学習支援を行っています。3・4年生になると学生3名～5名に1名のゼミ担当教員が配置され、特に国家試験対策や就職支援にも力を注いでいます。2023年度は、看護師国家試験98・6%、保健師国家試験100%と高い確率で合格者を出しています。

地域医療の担い手として

看護学科には、女子寮が併設され、授業が終わった後、一旦寮に戻り夕食を済ませて大学で勉強している学生も多くあります。また、短期入寮も可能となっています。実習中は短期入寮制度を利用して寮から実習に通う学生もいます。

最後になりましたが、これまで活水女子大学は、女子教育に力を注いてきましたが、社会からの要請に応え、男性を含む看護職の育成を通して、地域医療に貢献するために、看護学科に限り、2025年度から男子学生の受け入れを開始する事となりました。学科では、これに向けて準備を整えているところです。看護職を目指しているみなさん、環境の整った活水女子大学看護学部看護学科で一緒に学びませんか。

Hello 研究室



看護学部 富 知華子 講師

学 位／看護学修士

専門領域／小児看護学

所属学会／日本小児看護学会、日本小児保健協会、日本医療教授システム学会、九州・沖縄小児看護教育研究会

看護研究への取り組み

学生たちの研究活動を支援していますが、これまでの卒業研究では、「医療的ケアをもつ母親の思い」や「医療的ケアに対する看護師の実践知」、「そんかん発作がある子どもの家族のための発作対応」など、学生が興味を持ったテーマを中心に指導してきました。これらの研究を通じて、学生たちが患児やその家族に寄り添い、実践的な課題解決策を見つけられるようサポートしています。また、ゼミ中は「楽しく学ぶ」をモットーに皆でわいわい話し、たくさん笑い、とても活気があります！

臨床と教育の連携

長崎医療センターとの連携を活かし、現場での看護研究指導にも取り組んでいます。これにより、実際の現場

での問題解決につながる実践的な研究活動に関わることを嬉しく思っています。また、半年近くある実習では学生たちが理論と実践を結びつけ、現場で応用できる知識を深められます。また、半年近くある実習では学生たちが理論と実践を結びつけ、現場で応用できる知識を深められます。また、半年近くある実習では学生たちが理論と実践を結びつけ、現場で応用できる知識を深められます。

現場で優れた看護師として活躍するための判断力や対応力を学生に育てるため、メンタルシミュレーションを取り入れた演習を行っています。このシミュレーションは、現実の医療現場を想定しながら、学生が自分の考えや対応を事前に練習し、適切な行動を取れるようにする教育法です。これにより、自ら訴えることができない小児患者のケヤや、難しいケースに対応するスキルを磨いています。

看護学部の魅力を発信!!



試委員長としても尽力しています。広報活動やオープンキャンパスを通じて、高校生や保護者に看護師の魅力や責任を伝える場を設けています。今年は多くの来場者の方々に活水女子大学看護学部の魅力を伝えることができたのではないかと思っています。学生ボランティアも多く参加してくれ、学生の生き生きとした笑顔がとても印象に残っています。

学生への関わりと育成

国家試験対策の指導や就職支援を行い、定期的な面談を通じて進路の悩みや学習面でのサポートを積極的に行ってています。学生たちが就職後も楽しく働き、看護師として自信を持って歩んでいけるよう、心構えや実践力をしっかりと伝え続けていきたいと思います。

ボランティア活動の顧問や学部の入

活水中学校 年間行事

| | |
|-----|---|
| 4月 | 歓迎行事 |
| 5月 | 第45回英語暗唱大会(校内) 【特別行事】 ●被爆遺構めぐり (中1～中3) |
| 6月 | 長崎市中学校総合体育大会 |
| 7月 | 職場体験(中2) NHK合唱コンクール出場 球技大会 |
| 8月 | 体育大会 縦割り(赤・青)のグループで頑張りました。 |
| 9月 | 宿泊研修(中1) 【特別行事】 ●防犯対策 安全マップ作り(中2) ●高齢者施設訪問前のこと前準備(中3) |
| 10月 | 弁論大会(校内) 校外活動(中1～中3) |
| 11月 | 百人一首大会(校内) 修学旅行(東京)(中2) 【特別行事】 ●校外活動(中1、中3) ダンス発表会 お別れ行事 |



(生徒の感想)
私は子ども支援センターピクニックに行きました。幼稚園に行っていない2歳以上の子どもたちの接し方についてたくさん学びました。自分が小さい頃もこんな感じだったのかなと思い、両親に対しても感謝も気付かせてくれた機会でした。

(生徒の感想)
7月18日、19日に中学2年生の職場体験を行いました。体験先は、子ども支援センター・ピクニック、長崎歴史文化博物館、ユニーク・TSUTAYA、GU、ニトロ、東宝シネマズです。挨拶から始まり、商品の陳列や接客や清掃など普段の視点とはまた違った、様々なことを体験することができました。

【職場体験】

7月18日、19日に中学2年生の職場体験を行いました。体験先

は、子ども支援センターピクニック、長崎歴史文化博物館、ユニーク・TSUTAYA、GU、ニトロ、東宝シネマズです。挨拶から始まり、商品の陳列や接客や清掃など普段の視点とはまた違った、様々なことを体験することができました。

【NHK合唱コンクール】

課題曲は「僕らはいきものだから」、自由曲は「金色の実」を元気いっぱい歌いました。



(生徒の感想)
10月3日、4日に島原へ宿泊研修に行きました。1日目はガマダーム、旧大野木場小学校、砂防未来館、土石流被災家屋保存公園に行きました。ガマダームでは島原の山の大噴火のことについての映画や紙芝居を見ました。それを見て島原では私たちが知らない所で大きな被害に遭っていることを知りました。

2日目は総合学習(テーマ：生命(いのち))の一環として長崎ペンギン水族館に行きました。ガ

イドさんからペンギンには歯がないことを知りました。ガマダームでの宿泊研修で島原の山の大噴火について学びました。それを見て島原では私たちが知らない所で大きな被害に遭っていることを知りました。



(生徒の感想)
3年生では文化祭、体育祭など、高校生活最後の友人との思い出を作るイベントも多くあります。体育祭では活水伝統の、毎年3年生が踊るメイポールダンスや文化祭では部活動の出し物やクラスごとの展示など行事を充実して楽しめるようになっています。また大学受験や専門学校の入試に向けて、本格的な勉強が始まります。活水では有名大学などの同盟指定校推薦が多く、部活動でも進路と部活の両立がしやすい環境が作られています。また活水では進路実現を目指し面接や筆記試験のために担任の先生やたくさんの方からのサポートがあります。私は吹奏楽部に所属しており、全国大会を目指し大変なこともあります。ですが、仲間と一緒に全国大会や地域のイベントを通してたくさんの貴重な経験をすることができました。その中で、進路が不安な時もありましたが、担任の先生のサポートや将来についての授業を通じて今は大

学生生活が楽しみになりました。活水に出会えたことでこれからも最高な人生を送ります。私は後悔のない3年間を過ごすことができました。活水に出会えたことでこれからも最高な人生を送ります。私は後悔のない3年間を過



【中総体】

新体操部とサッカー部が出場しました。



充実の6年間 活水中高で過ごした

私は中学生の頃から活水に通っていますが、活水の魅力はたくさんあると思います。1年ごとに学びのテーマが違い学びを追求することができることが魅力です。1年生ではたくさんの中学校からたくさんの人が集まり新しい出会いがあります。中学校からの進学を経て、新しい友人や先生との出会いが待っています。球技大会や体育大会、活水祭を通してクラスメートとの絆を深め、充実した学校生活を送ることができます。体育大会では高校1年生全員で浴衣を着て踊ります。日本の伝統文化に触れることができ、活水ならではの魅力だと思います。

総合学習の一環として3学年合同の平和学習を行いました。校内で被爆講話を聞いた後、中学3年の案内で、縦割りのグループを作り、学校周辺の被爆遺構(山王神社、如心堂、浦上天主堂、平和公園など)をフィールドワークしました。

【英語暗唱大会】

中学2年生、3年生全員が春休みの宿題として英語の物語を暗唱します。各学年から選ばれた6名の代表者がこの暗唱大会に出場します。中学2年生の優勝は松本花さん(写真中央)、中学3年生の優勝は坂井ななさん(右から2人目)でした。

中学2年生、3年生全員が春休みの宿題として英語の物語を暗唱します。各学年から選ばれた6名の代表者がこの暗唱大会に出場します。中学2年生の優勝は松本花さん(写真中央)、中学3年生の優勝は坂井ななさん(右から2人目)でした。



サークル
アクティビティ
④

活水の
平和学習

被ばく体験をもとに紙芝居

「わたしからあなたへ」

活水高等学校

平和学習部

私たち、被爆者の松尾幸子さん(90)の体験を基に、紙芝居「わたしからあなたへ」を制作しました。全22枚の紙芝居は、日本語と英語のナレーション付きで動画化し、長崎原爆被災者協議会のYouTubeチャンネルで公開しています。

私たちは5月に松尾さんから直接体験を聞き取り、物語の作成、作画、英訳を行いました。透明水彩で描いた絵と、生徒によるナレーションで、松尾さんの心情を表現しています。完成披露会では、松尾さんから「優しい表現でとてもよかったです」とのお言葉をいただきました。

作画を担当した島田朱莉は、「初めて松尾さんの話を聞いた時、私は想像をすることができないほど悲惨な経験ばかりだったが、松尾さんが見た景色をどのように描けば読んだ人に伝わるのか、話のどの部分を読んだ人に伝えたいのかを考えながら取り組んだ。また、途中経過を報告した時に訂正部分や良い部分を教えてもらうことができた。難しいところもあつたけれど、完成まで日常生活の合間に使って良い作品を作り上げることができた。この紙芝居を通して戦時中を生きた人々はどのような生活を送ってどんな辛い思いをしたのか、また何よりも、平



松尾 幸子さん

当時11歳。爆心地から1.3km離れた場所で被爆し0.7km地点にあった自宅は跡形もなく焼け、父、兄、姉、兄嫁、叔母を亡くす。今まで核兵器の廃絶と平和の尊さを訴え続けている。

和について少しでも興味を持つてもらいたい」と、一緒にこの活動を作り上げた中村心優と元川真理子は、「被爆者の声が減る中、松尾さんの貴重なお話を聞くことができた。この紙芝居を多くの人に見て読んでもらいたい」。「松尾さんの想いを世界へ発信できてよかったです。作成にあたって得た学びをこれから活動へと発展させたい」と述べています。

現在、紙芝居のYouTube再生回数は1500回を超えました。被爆者の高齢化が進み、被爆伝承をどう行うかが大きな課題となっています。そんな中でこのような紙芝居を作り上げることができたことを誇りに思います。被爆者なき時代は必ずきます。被爆者なき時代を生きる人々、そして今を生きる人々にとって原爆について知る窓口になればいいなと思っています。

(文:竹内 倆)



紙芝居
「わたしからあなたへ」



2023年度の企業訪問（グローバル企業を知る）
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社長崎TEC（諫早市）
スマホの目であるイメージセンサーの最先端製造ラインを見学させていただきました

取り入れ、自分も顧客やファンである企業がどのような戦略でグローバル企業として成長してきたかをディスカッションします。また、年度によっては海外ビジネスを開拓する県内企業を訪問することもあります。訪問は、県内に拠点を持つIoT（企業同士でのビジネス）で、かつ、理工系学生に人気の企業に受け入れをお願いしています。就職活動時にIoT（消費者向けビジネス）以外の企業にも目を向けてくれること、教員志望者には未来の生徒からの進路相談へのヒントになることを期待しています。

「データサイエンス入門」は今年度より教養教育の必修としてスタートした科目です。この授業では、データサイエンスやAI技術の概要をしつかり理解することで、これらを不必要に恐れることなく「使いこなす側」になることをを目指しています。学生たちの多くが「文系だからデータやパソコンを使うことは苦手」と思い込んでいます。そこで、重要なのはプログラミングなどの「処理」ではなく、目的に合わせてデータや分析方法を選ぶこと、結果をもとに「何をするかを決める」ことを強調しています。授業では「Slido」というアプリを用いて、

国際文化学科は活水女子大学の中で最も文系色の強い学科です。一口に「文系」といつても、大きくは「人文系」と「社会科学系」のふたつに分かれ、私が所属している「地域・ビジネスコース」は社会科学系の学問を主に学ぶコースです。今回は、担当している科目から「グロー

バル企業を知る」と教養教育必修科目の「データサイエンス入門」を紹介します。「グローバル企業を知る」では、企業戦略論を学んだのちに、国内外のグローバル企業におけるケース（経営の事例）を用いてグループワークを行います。ケースには学生たちの希望をできるだけ



データサイエンス入門の授業画面
アプリを使って、みんなが双方のやり取りを行なっています

リアルタイムで全員が意見を表明して全員に共有する機会を作っています。1講義あたり70名近い受講者からは、毎回画面上でとても活発に意見が出てきます。他の全ての担当授業でも、学んだ内容を自分の言葉で説明できるようになる、「言語化する力」の養成・向上を意識しています。

文系不要論が話題になったのは過去の話です。これから時代は「人間」が主役である人文・社会科学系の学びによって得られる知識や知恵がより一層大切になっていくことを、学生に伝えていきたいと思っています。

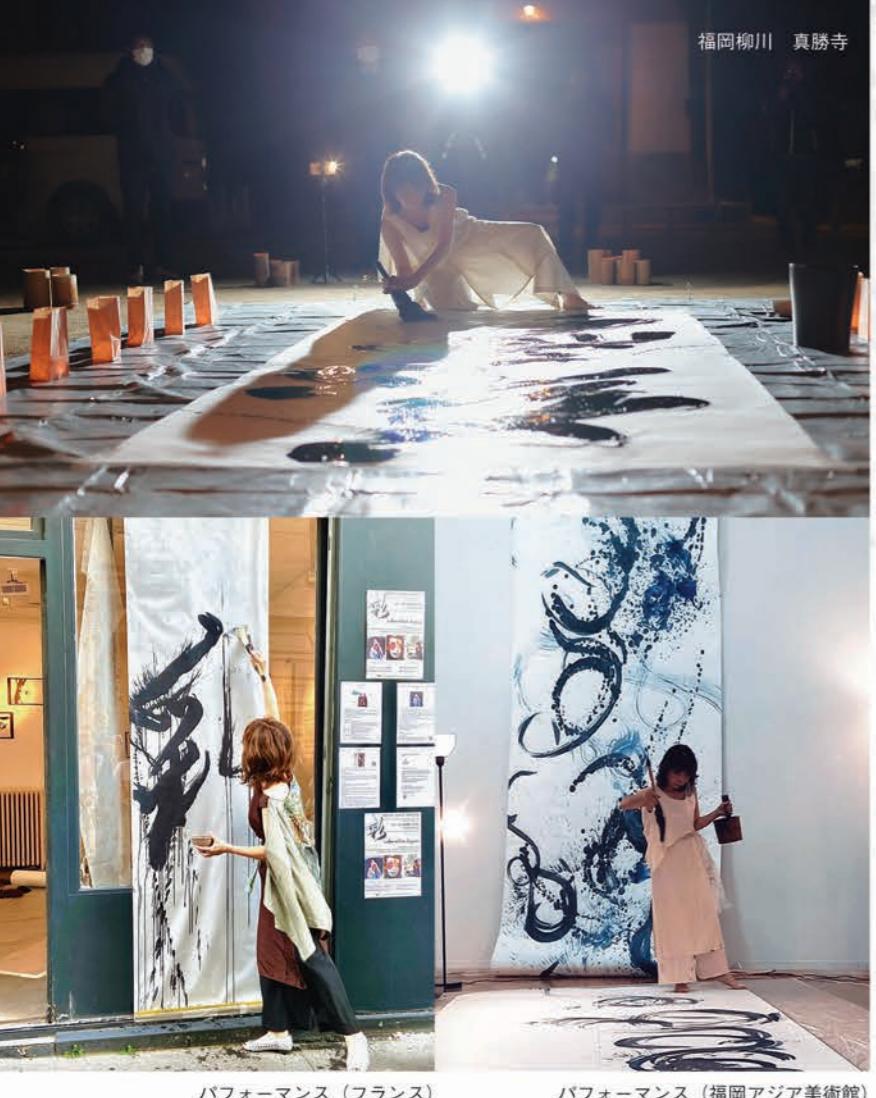
（授業担当：花堂 奈緒子先生）



大学授業最前線

⑥

A.Iと生きていく時代だからこそ、文系の学びが大切なことを伝えたい



パフォーマンス（フランス）

パフォーマンス（福岡アジア美術館）



翔（フランス）



書家 悠杏—Yuan—のオフィシャルサイト

や三味線の世界に再度チャレンジしたくなり、筝曲の神様といわれる故宮城道雄検校同門の先生を訪ね東京での修行生活に入りました。その後福岡に戻り指導者として演奏者として活動していました。そして結婚・出産を経て家庭生活に入ったころ、知人から和食器を扱う店の屋号の揮毫を依頼されました。それがきっかけで、デザイン書道に本格的に取り組むようになりました。

——音楽（筝曲）と書道に共通点はありますか？

どちらも芸を究めるという点では共通していますが、デザイン書道は特に相手のニーズをくみ取り、形にすることが大切です。自己満足ではなく、顧客満足を追求するという意味で、マイケティング的な側面が強いと思います。

——「動」けよ、さらば与えられん

——現役の学生たちへのアドバイスを「書」にしたためていただけませんか？ 漢字一字で表すなら「動」。とにかく動いてみる。今すぐ結果が出なくて、その経験はいつか必ず力になります。

——好きな言葉をあげてください。
「明日は私の風が吹く」、私のモットーです。未来に向けて、悲観的になる必要なんていないです。動き続けていれば、必ず良い風が吹きます。

——好きな言葉をあげてください。
す。何かをすれば何かが得られるということでしょうか。

——お忙しいところ、ありがとうございます。

明日は私の風が吹く

青春の坂道を駆け上がる活水時代

——デザイン書道とはどのようなものですか？

書道の美しさにデザインを融合させた新しい表現です。従来の書道は文字の美しさに焦点を当てますが、デザイン書道は文字そのものをビジュアルアートとして表現し、看板や商品パッケージといった日常の中に活かします。

——もともと書道を習つておられたのですか？

はい、でも最初は琴や三味線に夢中でした。大学進学では、東京に進学したいという私の意思是、両親にあっけなく玉砕、それでは長崎の活水ではどうかと交渉したところ、活水ならOKだと。ただし寮生活をするようにとうきついお達しがありました（笑）。短大では家政科に進みました。

——デザイン書道の魅力とは？

福岡市在住の書家、悠杏こと、吉垣奈美代さんは、デザイン書道の分野で活躍され、書道教室を営むかたわら、九州産業大学造形芸術学科で後進の指導にも尽力されています。吉垣さんの作品は、芸術性と実用性を兼ね備え、数々の賞を受賞しています。2018年には、全日本書道芸術展でグランプリを獲得、また2024年春はパリで個展を開催、路上パフォーマンスを行うなど才能が広く認められています。

書家 悠杏（Yuan）
吉垣 奈美代さん
(旧姓・大鶴)

活水女子短期大学家政科食物専攻卒業
先輩たちの今
Close up ⑥



科学研究の成果の発信



看護師のスキルタイプ別 コミュニケーショントレーニングプログラムの開発

看護学部看護学科 幸 史子 教授

若い世代の看護師の離職が増加しています。その主な理由が人間関係や仕事に自信が持てないが挙がっています。一方臨床実践においては、益々看護師の高いコミュニケーション能力が求められています。そこで、本研究は、若い世代の看護師が臨床特有の場面に適応し、職務を確実に遂行できるための高いコミュニケーション能力を獲得するためのトレーニングプログラムを開発することを目的としています。

これまでの研究でわかったことは、コミュニケ

ーションスキルは、9つのタイプに分けられること、コミュニケーションスキルの内、説明スキルの低さが、結果としてインシデントが誘発されること等が明らかとなりました。まだトレーニングプログラムを開発するには時間がかかりますが、今後は、新人看護師とベテラン看護師のコミュニケーションスキルの差と臨床における特有の場面における対応の差について明らかにしていこうと思っています。



三浦綾子の文学とは何か

上出 恵子 名誉教授

三浦綾子のデビュー作『氷点』は、1964（昭和39）年の朝日新聞社1000万円懸賞小説の当選作でした。1964年といえば、新幹線が開業し、東京オリンピックが開催された戦後日本のエポックメーリングとなる年ですが、それから60年、時代は大きく、また激しく変わりました。たとえば、このエッセーの依頼時にサンプルとして提供いただいたものは生成AIが作成した原稿でした。少し前まではどこか不自然だった生成AIですが、今回頂いたのは、かなりのもので、レポートとして学生から提出されても分からず思いました。ただし、まだA評価には達していないようですが、それはさておき、言語表現活動という知的かつ精神的、そして創造的なものももはや私たちの独壇場とは言えなくなっていました。

このような今の時代においても人間なら還暦を迎える三浦綾子の『氷点』は読み継がれています。明治の北海道での鉄道事故を描いた『塩狩峠』、また歴史小

説『細川ガラシャ夫人』も同様で、その全てとは言えないまでも多くの作品が読まれています。それは何故なのかといえば、『氷点』から10年後の大河小説『天北原野』のテーマとして明確に言語化された「善人が、なぜ故なき苦難にあうのか」という苦難や試練を問う文学だからなのです。

私たちは因果の理でははかれない不条理かつ不都合な現実を生きています。地震や津波、異常気象などの天変地異、戦争や紛争、パンデミックなどの病、頻発する事故や事件など、まともに普通に暮らしていても巻き込まれ、思うように生きられるものではありません。このような私たちの現実を過不足なく描き、しかもそこにとどまらない世界が指し示されているのが三浦綾子の文学です。それはクリスチャンである三浦の信仰に裏打ちされた文学であるのですが、いずれにしても、どのような時代になろうとも人間の根源に根差すものは求められ続けるのだと言えるでしょう。

科学研究費助成事業（科研費）とは、日本学術振興会が人文、社会、自然科学の全分野にわたる基礎から応用に至る幅広い研究を支援するための競争的助成金です。独創的で先駆的な研究を支援することで、豊かな社会の基盤を形成することを目指しています。科研費を活用し、教育、研究に取り組む教員の研究内容をお知らせします。



古代・中世陰陽道書の研究

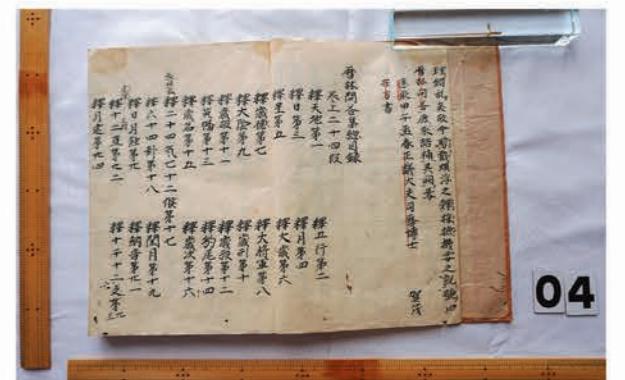
国際文化学部国際文化学科 細井 浩志 教授

私の研究は暦注のマニュアルである陰陽道書の普及の実態を明らかにするものです。新聞には「今日の運勢」が載っていますが、昔の人は今以上に暦に載る毎日の吉凶（暦注）を気にしました。

私が注目したのは朝廷の暦博士・陰陽師である賀茂在方が書いた『暦林問答集』です。一応秘伝書ですが案外関係ない人も持っていて、「誰がこの秘伝書を見せたの？びっくりした！」と奥書に記した在方の孫が実は秘伝を漏らした當人である証拠を見つけたり、行方不明だった15世紀の写本がある大学図書館にあることがわかつたり、写し手が自分の都合で暦注書きを変えているのに気づいたりなどの発見がありました。

また昨年秋に手がけた国立歴史民俗博物館での特別展で奈良の陰陽師の史料の一部が出ましたが、青森県

で見つけた新写本の写し手の名が偶然その史料にありました。色々なことが次々とつながっていくのは面白いし、不思議でもありました。今は新写本の写真集の刊行準備を進めています。



新写本の古谷義昭氏所蔵本（古谷本）『暦林問答集』



子どもの市民的資質を育てる 修復的な学校をつくるための指導方法論の研究

健康生活学部子ども学科 田渕 久美子 教授

世界では戦争や紛争が起こっています。その根底には、政治や思想・宗教などによる対立があります。対立や葛藤は、私たちの身近なところにもあります。たとえば、犯罪・対人関係トラブルなどです。学校では、いじめなども起こっています。このような対立や葛藤を解決し平和を導くことは簡単ではありません。しかし、それに取り組もうとするのが、修復的正義という世界に広がりつつある考え方です。

修復的正義においては、対話という方法を用いて、

対立や葛藤の当事者を含むコミュニティにおいて、問題解決を行っていきます。これを取り入れた学校では、参加者が円になって話すサークルなどの方法で、問題解決をめざす対話を行います。対話は、修復的な問い合わせによって、自己と他者を深く理解し、コミュニティを育てます。教育実践の場において、子どもたちがアクティブな市民として、コミュニティの一員として育つことができるのです。日本の学校で、このような考え方と実践とを育していくための研究を行っています。



2023年度の企業訪問（グローバル企業を知る）
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社長崎TEC（諫早市）
スマホの目であるイメージセンターの最先端製造ラインを見学させていただきました

取り入れ、自分も顧客やファンである企業がどのような戦略でグローバル企業として成長してきたのかをディスカッショーンします。また、年度によっては海外ビジネスを展開する県内企業を訪問することもあります。訪問は、県内に拠点を持つ（企業同士でのビジネス）で、かつ、理工系学生に人気の企業に受け入れをお願いしています。就職活動時に日本の（消費者向けビジネス）以外の企業にも目を向けてくれること、教員志望者には未来の生徒からの進路相談へのヒントになることを期待しています。

「データサイエンス入門」は今年度より教養教育の必修としてスタートした科目です。この授業では、「データサイエンスやAI技術の概要をしっかりと理解することで、これらを必要に恐れることなく「使いこなす側」になることを目指しています。学生たちの多くが「文系だからデータやパソコンを使うことは苦手」と思い込んでいます。そこで、重要なのはプログラミングなどの「処理」ではなく、目的に合わせてデータや分析方法を選ぶこと、結果をもとに「何をするかを決める」こと、を強調しています。授業では「Solid」というアプリを用いて、



データサイエンス入門の授業画面
アプリを使って、みんなが双方向のやり取りを行なっています

リアルタイムで全員が意見を表明して全員に共有する機会を作っています。1講義あたり70名近い受講者からは、毎回画面上でとても活発に意見が出てきます。他の全ての担当授業でも、学んだ内容を自分の言葉で説明できるようになる「言語化する力」の養成・向上を意識しています。

文系不要論が話題になつたのは過去の話です。これから時代は「人間」が主役である人文・社会科学系の学びによって得られる知識や知恵がより一層大切になっていくことを、学生に伝えていきます。

（授業担当：花堂 奈緒子先生）

大学授業 最前線

⑥

AIと生きていく時代だからこそ、文系の学びが大切なことを伝えたい



私たち、被爆者の松尾幸子さん（90歳）の体験を基に、紙芝居「わたくしからあなたへ」を制作しました。全22枚の紙芝居は、日本語と英語のナレーション付きで動画化し、長崎原爆被災者協議会のYouTubeチャンネルで公開しています。私たちは5月に松尾さんから直接体験を聞き取り、物語の作成、作画、英訳を行いました。透明水彩で描いた絵と、生徒によるナレーションで、松尾さんの心情を表現しています。完成披露会では、島田朱莉は、「初めて松尾さんから『優しい表現でとてもよかったです』とのお言葉をいただきました。作画を担当した島田朱莉は、「初めて松尾さんの話を聞いた時、私は想像を立てることができないほど悲惨な経験ばかりだつたが、松尾さんが見た景色をどのように描けば読んだ人に伝わるのか、話のどの部分を読んだ人に伝えたいのかを考えながら取り組んだ。また、途中経過を報告した時に訂正部分や良い部分を教えてもらうことができた。難しいところもあつたけれど、完成まで日常生活の合間に使って良い作品を作り上げることができました。この紙芝居を通して戦時中を生きた人々はどのような生活を送ってどんな辛い思いをしたのか、また何よりも、平

和について少しでも興味を持つてもらいたい」と、一緒にこの活動を作り上げた中村心優と元川真理子は、「被爆者の声が減る中、松尾さんの貴重なお話を聞くことができた。この紙芝居を多くの人に見て読んでもらいたい」「松尾さんの想いを世界へ発信できてよかったです。作成にあつて得た学びをこれから活動へと発展させたい」と述べています。

現在、紙芝居のYouTube再生回数は1500回を超えました。被爆者の高齢化が進み、被爆伝承をどう行うかが大きな課題となっています。そんな中でこのような紙芝居を作り上げることができたことを誇りに思います。被爆者生き代は必ずります。被爆者生き代を生きる人々、そして今を生きる人々にとって原爆について知る窓口になればいいなと思っています。

（文：竹内 伶）



松尾 幸子さん

当時11歳。爆心地から1.3km離れた場所で被爆し0.7km地点にあった自宅は跡形もなく焼け、父、兄、姉、兄嫁、叔母を亡くす。今日まで核兵器の廃絶と平和の尊さを訴え続けている。

サークル アクティビティ

④

平和学習

「わたくしからあなたへ」

活水高等学校

平和学習部



紙芝居
「わたくしからあなたへ」

